

## 木曽地域に 「ツキノワグマ出没注意報」を発出します

木曽地域では、6月のツキノワグマの目撃件数が前週の約2.2倍に増加するなど、人の生活圏での出没が増加しています。こうした状況を踏まえ、木曽地域にツキノワグマ出没注意報を発出します。

### クマ出没注意報の発出期間

- 木曽地域 令和8年6月12日(金)から令和8年6月26日(金)まで【発出】  
(対象市町村：上松町、南木曽町、木曽町、木祖村、王滝村、大桑村)

### 人の生活圏でのクマ目撃件数

- 木曽地域 前週 9件 (5月29日～6月4日)  
(前週：上松町5件、南木曽町2件、木曽町1件、木祖村1件)  
今週 20件 (6月5日～6月11日) 前週比2.2倍  
(今週：上松町6件、南木曽町2件、木曽町6件、王滝村6件)

#### 【クマ出没注意報の発出基準】(該当する基準)

- ・人の生活圏での目撃件数が、2週連続して週5件以上かつ前週比1.5倍以上  
上記を基準に専門家の意見を踏まえ発出

### 県内の注意報発出状況

- 松本地域 5月22日(金)～6月19日(金)
- 北アルプス地域 6月3日(金)～6月19日(金)

### クマによる人身被害発生状況(全県)

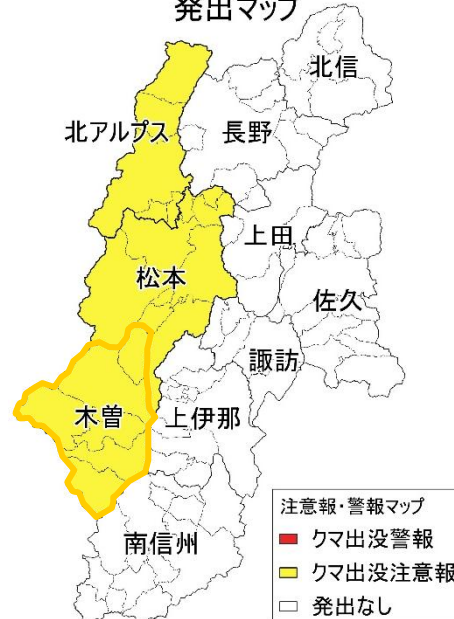
令和8年度(6月11日現在)：0名  
(令和7年度：11件 16名)

### 県民の皆様へのお願い

- ・人身被害を防止するため、外出時の注意や集落周辺の環境管理などの対策の徹底をお願いします。  
詳しくは、別紙「夏のクマに注意」をご参照ください。
- ・注意報を発出していない地域の皆様も、人身被害を防ぐため引き続きご注意ください。

【参考：長野県ホームページ】ツキノワグマについて知っていただきたいこと(県民の皆様・長野県を訪れる皆様へ) <https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html>

#### ツキノワグマ出没警報・注意報 発出マップ



長野県産木材のある  
穏やかな暮らしをマークにしました

つなぐ木のいのち

NAGANO WOOD PRODUCT



(問合せ先)

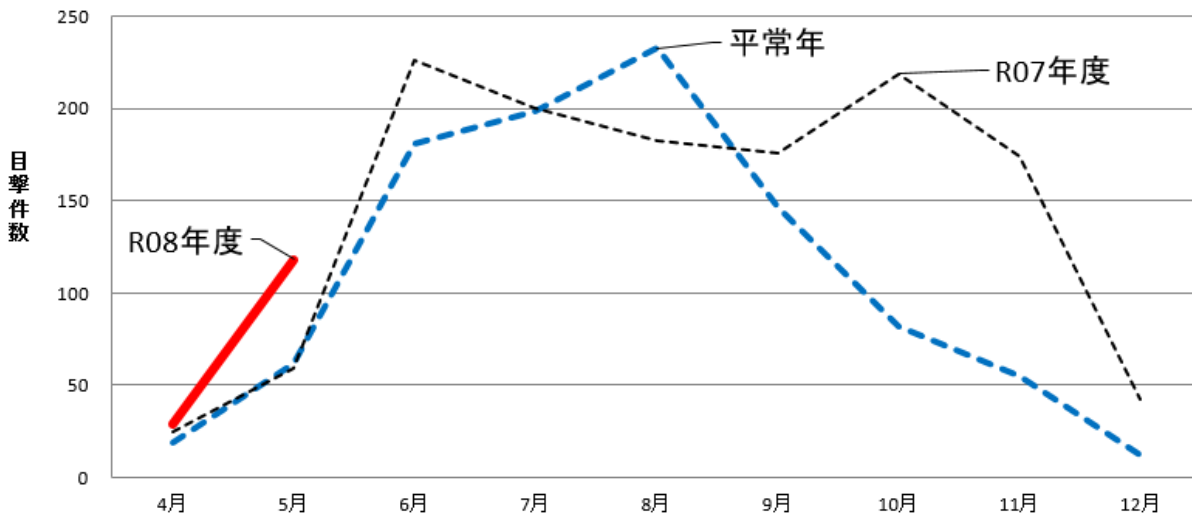
担当 森林づくり推進課鳥獣対策係  
神谷、内藤  
電話 (直通)026-235-7273  
(代表)026-232-0111 (内線)3266  
FAX 026-234-0330  
電子メール choju@pref.nagano.lg.jp

# 人の生活圏におけるツキノワグマの目撃状況

令和8年6月12日 現在

- ・現在、松本地域及び北アルプス地域の目撃件数が、平常年より多くなっていることから、出没注意報を発出していますが、木曽地域においても5月下旬以降の目撃件数が増加しています。
- ・本来クマの生息域は森林ですが、この時期のクマは食べ物を求めて森林以外の場所にも活動を広げるなど、6月以降は、例年、全県的に目撃が増加する傾向にあります。
- ・注意報が発出されていない地域においても、人の生活圏における目撃が徐々に増えているため、出没したクマが人の生活圏を餌場として認識し、繰り返し出没させないためにも、家庭の畑の廃棄野菜や生ゴミなどの管理と処分の徹底をお願いします。

人の生活圏でのツキノワグマの目撃件数の推移



令和8年度クマ出没注意報・警報発出基準（管内別）

発出区分	判断観点	判定基準	発出条件
注意報	平常年との比較 (月)	① 生活圏での目撃件数が 平常年の1.5倍以上	①のみで発出
	前週との比較 (週)	② 2週連続して 5件/週以上かつ前週比1.5倍以上	②のみで発出
警報	人身被害	③ 生活圏で人身被害が発生	③のみで即時発出
	平常年との比較 (月)	④ 生活圏での目撃件数が 平常年の2倍以上	④～⑥の複数該当で発出
	前週との比較 (週・高水準)	⑤ 2週連続して 7件/週以上かつ前週比2倍以上	
実数 (密度判断) (月)	⑥ 管内の生活圏での目撃件数が以下の件数以上 (佐久：39件、上田：33件、諏訪：25件、上伊那：40件、南信州：58件、木曽：46件、松本：55件、北アルプス：34件、長野：46件、北信：31件)		
特別警報	追加条件	⑦ 堅果類の凶作が予測され大量出没が見込まれる	警報発出+⑦該当時

平常年 …大量出没だった H26 年を除く、H25 年度から令和7年度 (12 年間) の平均値をいう。